



ほけんだより 2月号

2024年度 2月3日発行
社会福祉法人尚徳福祉会
保育園与那原ベアーズ1

2月是一年の中でも気温差が大きく、咳や鼻水などの症状の出る子が増えてきます。手洗い・うがい、こまめな水分補給と適宜換気をしながら感染症対策を心掛けましょう。また、2月2日は節分でしたね。子どもたちが元気いっぱいにご過ごせるよう、願いを込めて豆まきをしました！園での節分集会で、元気な子どもたちの姿を見るのが楽しみです！

《先月の感染症情報》

インフルエンザ A…5 名



冬のスキンケア



寒くなると、子どもの皮膚は大人に比べて薄いので乾燥しやすく、刺激や摩擦による抵抗力も弱いので、とても傷つきやすくなります。皮膚が乾燥すると痒くなるので、掻いてしまい、たくさん傷がついてしまいます。皮膚が乾燥する時期は清潔と保湿を心がけましょう。

- *体調が悪くなければ毎日入浴し清潔を保ちましょう。
- *入浴時、ゴシゴシ洗うと皮膚を傷つけるので、優しく手で洗いましょう。
- *入浴後、タオルで優しく拭いたら保湿剤などでスキンケアをしましょう。
- *直接肌に触れる部分は木綿の衣類が良いです。化学繊維の衣類は、静電気が起こりやすく、皮膚に目に見えない傷をつけます。
- *毎日手入れをしても肌荒れが続く場合は、受診して相談しましょう。



食品による窒息に注意!

～身近な食卓に潜む意外な危険～

丸くてツルツとしている食品が
こどもの窒息につながるワケ

ワケ1

食品の特徴
すべりやすい

ワケ2

こどもの能力
かみきれない
のみこめない
咳で押し込めない

ワケ3

こどもの習性
食べながらの
「おしゃべり」や
「遊び」

ひと手間を加えることで
こどものいのちを守れます!

危険



4歳以下のこどもには、
ミニトマトやブドウ
などは「1/4カット」

安全・安心



詳しい情報は
ホームページにアクセス!

小児科学会 食品窒息



日本小児科学会 こどもの生活環境改善委員会



お腹の風邪って? ～感染性胃腸炎について～



お腹の風邪とは、細菌やウイルスが胃腸に入り込むことでお腹の調子が悪くなり、下痢や嘔吐が起こる症状を指しています。お腹の風邪は、正式には「感染性胃腸炎（ウイルス性胃腸炎・細菌性胃腸炎）」と呼ばれます。ウイルスが原因で胃腸に炎症が起こるものがウイルス性胃腸炎であり、細菌が原因で胃腸に炎症が起こるものが細菌性胃腸炎です。

嘔吐や下痢の症状がある時は、脱水になりやすいのでイオン水等を細目にあげましょう。

登園の目安としては、胃腸炎の症状が治まり、食欲があることです。下痢や食欲低下が治まっていない状態で登園すると、こども自身も辛いですし、感染を広げてしまう恐れがあります。

胃腸炎にかからないためにも、手洗いをしっかりと行い予防に努めましょう。